

レベル目安

中国語科

各種資格レベル

対象レベル

達成目標

基礎

中国語検定を受けたことがない、つまり、中国語を知らない(学んだことも使ったこともない)レベルです。

授業の際、日本語で説明しますので、日本語が母語でない方は、説明を聞いてわかる程度の日本語力が必要です。

中国語を初めて学ぶ方を対象とします。また、以前に少し学んだことがあるが、かなり時間がたって、ほとんど忘れてしまった方も対象となりますが、学習歴は人によって違うので、このレベルで適切かどうか、少しでも学習歴のある方は、ガイダンスの際、講師にレベルの相談をすることをお勧めします。

中国語を初めから学びます。最初に、中国語の発音と、発音を表すための「ピンイン」という表記法を学びます。それから、基礎文法を学び、簡単な会話を練習します。基礎文法の全項目のうち、半分くらいまで学びます。基本語彙として、500単語くらいを習得します。中国語で挨拶ができ、ごく簡単な日常会話ができるようになるのが目標です。

初級

中国語検定:準4級程度を目安とします。(但し、ピンインや四声・簡体字など中国語入門の心得があるレベルとします)。

おおむね半年程度の学習歴を持つ人が対象です。また学習歴はあるものの、しばらく学習から離れていて、ほとんど忘れてしまったという人も対象です。入門期を過ぎて、中級への橋渡しとなるよう語彙を増やすとともに、短文を正しく発音し、場面に応じた日中双方の表現を理解できる水準の授業を考えています。

「読む・聴く・話す」の三方面にわたって基礎的な力を身につけ、正しく聴き取って発音を行い、ピンインや簡体字も正確に表記できることを目標とします。また、これまで学習した基礎文法をしっかりと復習するとともに、未習の基礎文法事項を学習し、どちらも確実に定着させることを目指します。

中級

中国語検定:4級 HSK:2級程度を目安とします。

おおむね1年間程度の学習経験のある方を対象とします。中国語の基礎的内容はマスターして、常用語彙や文法事項の他、定型的な熟語、用例文を知っていることが望ましいですが、難易度の高い内容は理解できていなくても大丈夫です。極めて簡単な会話が行える程度であれば受講可です。

基本的に教材を使用し授業を行います。授業での学習と、さらに予習、復習を通して、さらに高いレベルを目指します。文法は中国語の構造に関する問題等、難しい点は取り上げず、定型的な表現を学ぶことに重点を置いて授業を進めます。よく使う文型や表現方法のインプット及びアウトプットが自由自在にできるために学ぶ講座です。

上級 I

中国語検定:4~3級 HSK:3級程度を目安とします。

中国語学習歴が2年程度の方を対象とします。簡単な日常会話ができる、常用表現を聴いて理解できることが望ましいです。ガイダンスの際に、講師に相談をして自身のレベルを客観的に判断してもらうことをお勧めします。

中国人講師はコミュニケーションを、日本人講師はリーディングを担当します。中国語でやや複雑な内容を表現・説明できること、中国語の文章(簡体字、繁体字)をピンインなしで発音し、文の意味を理解できるようになることを目標とします。同時に、このクラスは、日本のことを中国語を用いて理解してもらう、中国のことを中国人が読む文章によって理解することも目的としています。

上級 II

中国語検定:3~2級 HSK:3~4級程度を目安とします。

上級 I を終えた程度のレベルの学習者(中国語学習歴2年程度)を対象に、これまで学んだことの総仕上げを行ない、自然な中国語を表現できる能力を習得するための授業です。総合的レベルアップクラスと中国語百貨店(—中国文化に関する言語の学習)クラスでは、ともに授業はすべて中国語で行い、中国語でスムーズにコミュニケーションをはかることができるように訓練します。

総合的レベルアップクラスでは、中国語の会話表現法をマスターし、難しい会話が聞き取れるようになることと同時に、より正確に自分の考えを伝えるための文法を確認し、総合的にレベルアップすることを目指しています。中国語百貨店(—中国文化に関する言語の学習)クラスでは、中国文化に関する様々な表現を学びます。自ら実践しながら気軽に聴解力と会話力及び読解力を高めることを目標とします。

特別講座 セミナークラス

中国語科上級の修了者、または日本中国語検定2級や新HSK5級に相当するレベルの語学力の方が対象です。

詳細は、慶應外語Webサイトにて、ご確認ください。 <http://www.fl.s.keio.ac.jp>